



豊中市広報戦略 2023-2025

令和5年（2023年）12月
豊中市 都市経営部 広報戦略課

－ 目次 －

1. 広報戦略策定の目的
2. 広報戦略によりめざす姿
3. 広報の位置づけ
4. 広報を取り巻く状況の変化
5. 広報の現状と目標指標
6. 取り組む課題
7. 広報戦略2023～2025
8. 取組み項目

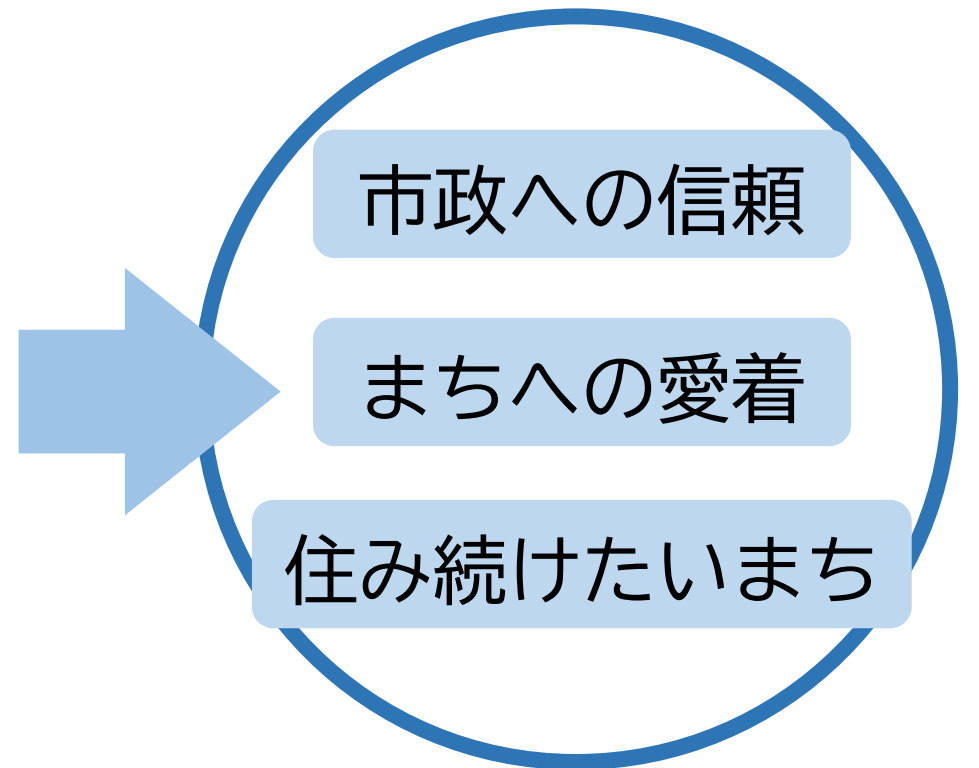
1. 広報戦略策定の目的

- 広報は、市民・事業者の皆さん(※)に情報を伝達し、意見や要望等のフィードバックを得る双方向のコミュニケーションによって、市民・事業者の皆さんと市のより良い関係を構築し、維持していくマネジメント活動です。
- その活動を効果的に展開し、めざす姿を実現していくため、広報戦略を策定します。

※以下、本戦略では「市民」と表記します。

2. 広報戦略によりめざす姿

- コミュニケーション手段が多様に用意され、活用されている
- 市民からの声を反映した有効な施策・事業が実施されている
- 市民の市政への関心が高まり、事業に参加したり、意見を述べたり、行動を起こしたりするなどの行動の変容につながっている



めざす姿の積み重ねにより
到達する状態

3. 広報の位置付け

第4次総合計画 後期基本計画	基本政策	経営戦略方針 2022～2025
<p>令和9年度までに 実現したい状態</p> <p>市民・事業者がニーズに応じた市政情報を受信でき、市政に参画できる機会が充実し、地域や市民公益活動への参加が進んでいる。</p>	<p>対話と発信による 共感・共創づくり</p> <p>市民の皆さんに共感いただき、共に作り上げていく市政を進めるため、わかりやすい情報発信と市民・事業者の皆さんとの対話の機会を充実します。</p>	<p>伝える力、聴く力の強化</p> <p>市民に共感いただき、共に市政を進めていくために、市からのメッセージや情報をわかりやすく、効果的に発信するとともに、対話の機会の充実を図ります。</p>

4. 広報を取り巻く状況の変化

●スマートフォンやソーシャルメディアの普及

市ホームページへのアクセスは、スマートフォンからが約7割。市のソーシャルメディア登録者数も年々増加しています。市民と市をつなぐ身近な媒体として、スマートフォンを活用していくことが有効です。

ソーシャルメディアを通じて誰もが容易に情報を受発信できるようになった半面、多くの情報が流通し、注目してもらうためにはこれまで以上に伝え方の工夫が求められます。

●ダイバーシティ（多様性）の推進

誰もがそれぞれの個性や違いを生かして活躍できるまちをめざして、ダイバーシティ（多様性）推進の取組みが進められています。多様な背景を持つ市民のだれもが、市の情報にアクセスし、また、市に声を届けることができる環境を整えていくことが求められます。

●自治体も選ばれる時代に

人口が減少局面に入り、今後、まちの活力を維持していくために、豊中に住み、住み続けてもらうための取組みが重要となっています。住み良いまち豊中をアピールしていくことが求められます。

5. 広報の現状と目標指標

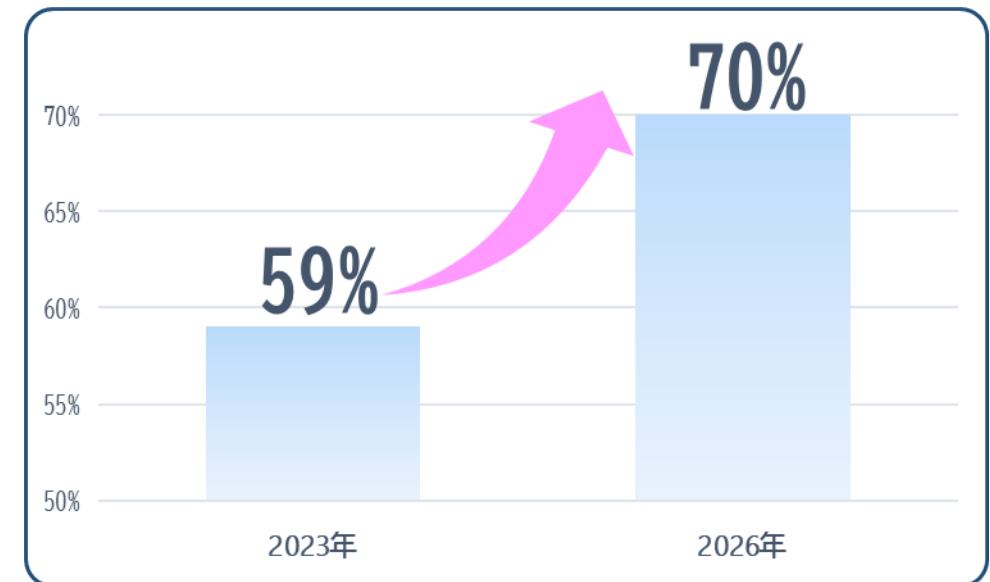
出典：令和5年8月webアンケート調査(回答数1,733件)

- ・市から必要な情報を受け取れている 78%
- ・市の情報を得る主な手段（一択）
広報とよなか 59%、LINE 23%、ホームページ 15%
- ・市に意見や要望を伝える手段が身近にあると思う 28%
- ・市の広報への満足度 59%

広報戦略により

市の広報への満足度70%

をめざします！



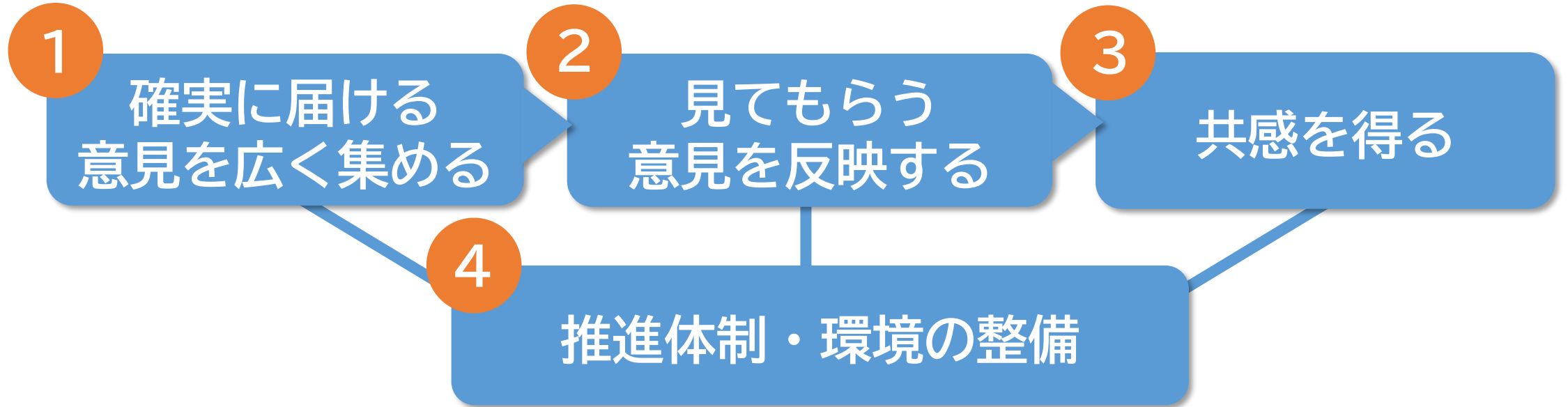
6. 取り組む課題

どんなに良い施策であっても、市民に知ってもらい、理解され、最終的に行動変容につなげてもらわなければ成果を得ることはできません。

- 市民と市のコミュニケーション手段の充実
- 市民のニーズや課題を把握し、市政に反映する仕組みづくり
- 市政を身近に感じてもらうための、市民へのアプローチ
- 市政やまちへの関心を高め、行動変容を促す情報発信

7. 広報戦略

- めざす姿に向け、市民の「共感を得る広報」を進めます。
- 具体的には、次の4つの観点から取組みを進めます。



- 戦略期間は「経営戦略方針」に合わせ令和7年度までとします。

8. 取組み項目

届ける

集める

(1) 確実に届ける、意見を広く集める

- 市の情報を多様な媒体を活用して発信
- 市民の意見や要望を把握する仕組みの充実
- 危機事象発生時の対応力の強化

【主な取組み】

- ・ソーシャルメディアの特性を活かした発信の充実
- ・デジタルアンケートなど利便性の高い手法の活用
- ・アウトリーチ型で意見を聴く取組み
- ・災害等の発生時に、必要な情報を正確に伝え、問合せに的確に対応する環境整備（事前の準備など）

8. 取組み項目

見てもらう

反映

(2) 見てもらう、意見を反映する

- 市の情報を、探しやすく、わかりやすく
- テーマや切り口を工夫し、読みたいとなる内容に
- 市民の意見や要望を聴く機会の充実

【主な取組み】

- ・市ホームページのリニューアル
- ・個別ニーズに対応する仕組み（プッシュ型通知など）の導入
- ・市の取組みを読み物記事に仕立てて継続的に発信
- ・施策立案にあたり当事者の声を集める取組みの強化
- ・各種アンケート結果等を庁内で共有する仕組みの整備

8. 取り組み項目

共感

(3) 共感を得る

- 市民や地域、市の取り組みを“魅せる”広報
- 外部のメディアへの働きかけ

【主な取り組み】

- ・情報の適切な編集・加工、動画作成など見せ方の工夫
- ・市政への意見・要望、市民アンケート結果などの分析・反映（BIツールの活用等）
- ・市の顔が見える広報（告知記事とは異なる視点での情報発信・アウトリーチ型取り組み等）
- ・魅せる機会・ツールの強化（報道機関やwebニュース、雑誌等への積極的な情報提供、取材受入れ）

8. 取組み項目

体制・環境

(4) 推進体制・環境の整備

- 庁内体制の構築
- 職員の広報力の強化

【主な取組み】

- ・ 広報戦略課の調整・統括機能の強化
- ・ 市民や外部専門人材によるモニタリング評価の実施
- ・ 広報に関する満足度調査の継続実施による定点観測
- ・ ホームページやソーシャルメディアの利用状況等のデータ分析を強化
- ・ 外部専門人材の活用